

平成26年度 政策提言が実現 平成27年度 いたしました！

事業1 吉祥寺地区まちづくり検討調査

H24 9月 「吉祥寺南口再開発」について市の役割を質し、公会堂を含めた面的な開発提言をしました。

進捗 △ 市は、いまだに吉祥寺南口のデザインが描けていません。

事業2 「教育推進室(仮称)」の設置

H20 6月 深田貴美子の10大提案！「武蔵野市教育センター(仮称)」の設置を要望しました。

進捗 ○ 児童生徒の相談対応と先生方の研修研鑽、情報収集、副読本の作成等、武蔵野の教育発進拠点始動です。

事業3 「学校施設整備基本方針」の策定

H23 6月 公共施設の5割を占める学校施設の再編成を提言しました。

進捗 ○ 「小中一貫」「多機能・複合施設化」をもっと具体化し「武蔵野市の教育の未来と地域の再生」へ！

事業4 「公募市民参加による下水道使用料検討委員会」設置

H24 9月 今後の下水道事業の課題をご理解いただくために、市民参加の使用料決定を提言しました。

進捗 ◎ 市債の軽減の必要性をご理解いただき、適正な利用料の改訂につながりました。

事業5 「水の学校」開催

H22 6月 水をきれいに使って戻す学習機会による環境人材育成を提言しました。

進捗 ◎ 大変よくできました！ 6回連続講座参加応募33名！

事業1 男女共同参画基本条例(仮称)

H20 9月 深田貴美子の10大提案！「条例」「センター」設置を求めました。

進捗 ○ 「市民会館」に「センター」設置実現！条例は市民意見をベースにと希望します。

事業2 生活困窮者自立支援事業

H25 予算要望 社会に復帰できてこそ、「生きる喜び」へとつながります。

進捗 ○ 問い合わせ4月96件(昨年比1.4倍)、5月91件(昨年比1.9倍)。さめ細かな支援のメニューが決め手です。

事業3 三鷹駅北口まちづくりビジョン

H22 予算要望 三鷹北口タワーマンション建設時に、市に計画が無いことを指摘しました。

進捗 未定 防災+交通導線+玉川上水景観のビジョンがどう描けるかが重要です。

事業4 分譲マンション再生支援事業

H24 9月 3・11の教訓から、災害時のマンションのBCPと、日常の耐震・改修支援を提言しました。

進捗 未定 日頃のマンションコミュニティの形成と建て替えの支援のメニューが決め手です。

事業5 ICT教育の推進(デジタルテレビとタブレットPC導入)

H19 12月 武蔵野だけが遅れていた先生にひとり一台のPC導入の際に、すべての教室にデジタルテレビとタブレットPCによるICT教育の推進を要望しました。

進捗 未定 教材コンテンツが重要です。民間と連携してのキャリア人材教育へもつなげていきます。

オールジャパン肝炎サポート大集会に参加しました！

平成27年6月1日(月) @東京国際フォーラム主催：全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団

当日、フォーラム会場は、患者の方々のご家族、肝炎サポート議員など1200人が集まりました。「すべてのウィルス性肝がん・肝硬変患者にサポートを！」のフラッグで埋め尽くされた会場と壇上が一体となったフォーラムでした。

日本のウィルス性肝炎の感染者数は、350万人いるといわれています。その感染原因の多くが、予防接種の際の注射針と筒の使い回しや薬害・輸血といった「医原病」言われています。

ウィルス性肝炎の方に対しては、一定の医療費助成制度がありますが、肝硬変・肝がんの方の入院費用・手術費用には適用されません。年平均で肝硬変18万円、肝がん34万円の医療費自己負担も重くのしかかってきます。「肝炎対策基本法」(平成21年12月成立)に添い、1日も早い療養支援の実現に向かって地方政治からの働きかけをさらに進めてまいります。



ご意見、ご要望をお聞かせください！ メール ☐ ippo-ippo@fukakimi.net または電話 090-8025-4457まで

武蔵野市議会議員
フカキミの

第25号

深田貴美子

《いっぽいっぽ通信》

なんでもご相談ください！ 090-8025-4457

2015年6月26日 ©通巻第29号 ©深田貴美子といっぽいっぽの会
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-21-2 グローリオ吉祥寺本町706号

このまちに暮らす喜びを、もっと実感していただくために—
みなさまといつまでも一緒に、深田貴美子は歩きつづけます。

このたびは、心強く、また温かいたくさんのご支援をいただきました。みなさま、おひとりおひとりの一票一票のお気持ちの「結晶」を重く受け止め、身の引き締まる思いで、翌日より職務を再開いたしました。私は組織も政党にも属していません。「完全無所属」です。人口減少・少子高齢化・予想される災害・格差の広がり等日頃よりお悩みごと・ご不安を感じておられる方々、ご心配はつきないと思います。だからこそ、地方の政治は、暮らしの原点！おひとりおひとりが大切にされる「支えられ感」のある社会を目指していかなければなりません。小さなことから、コツコツと—見えないことこそ、しっかりと—三期目だからこそ、初心を忘れずに。みなさまと一緒に、武蔵野のすこやかな輝く未来を切り拓いてまいります。



武蔵野市議会議員 深田貴美子

第2回定例会 約1年半の空白を埋める待ったなしの緊急提言を連発！

Q 深田の質問		A市の回答	課題はズバリこれ！
再生は、公共施設建て替えとの 東部地区医療の リニアや耐震の （一財）武蔵野市は、	吉祥寺南病院建て替えは、街区を対象とした「国交省認可の容積緩和型地区計画」が必要です。容積緩和を推進するためにも、公共施設の再編成のこの時期に、市が所有する「南町コミセンの移設」を検討してみるべきと考えます。コミセンの再配置にあたっては、「機能アップ・健康増進・医療連携」の「スーパーコミセン」を検討すべきです。	容積緩和型地区計画は難易度が高いが、地区計画は「住民提案・発意が主として必要」と考える。	地域医療は住民の「最後の砦」です。高齢社会、大災害が予想される今日、吉祥寺南病院様は、地域防災計画においても医療重要拠点です。市長からは、「この地域に病院が必要か否かを検討してから」などとの回答がありました。コミセンは、市の施設であり、最終的には市長の判断こそが問われます。
	総務省は、災害時のマンション内支援として、すべての自治体に対して、「災害弱者名簿」を「マンション管理組合」に公開することを通達しました。マンションの建て替え・耐震・修繕等の連携に加えて、日常の高齢者・障がい者・子育て家庭等への連携も必要です。また、区分所有法に配慮した上で、（一財）武蔵野市開発公社が主として取り組むことを提言しました。	公社を基軸として、市役所本庁との連携で、平常時のマンション管理運営支援から推進したい。	武蔵野市内総世帯7万世帯の内、7割（約4万9千世帯）が「集合住宅（＝マンション）」暮らしています。災害時にマンションは、よほどの倒壊・出火がなければ、ほったらかしにされてしまいます。マンション内コミュニティ+マンション間コミュニティ+地域連携のまちづくりへと取り組みを急ぎます。
	東京都教育委員会は、3月に「情緒通級廃止」「特別支援教室の推進」へと方針を変えました。武蔵野市の「特別支援教育アクションプラン」(4月策定)の政策の見直しと、「通級学級の活用」「特別支援教室の充実」「現場への丁寧な対応」を求めました。	情緒通級指導学級3校(四小、井之頭小、桜野小)を拠点校とし、「より多くの教員配置」と「多様な巡回指導」「OJT(職務にあたりながらの研修)の充実」を図る。	これまでも武蔵野市教育委員会では、「通級学級」と「特別支援教室」と両輪で支援を進めてきました。今後は、「特別支援教室」の環境整備と、都の配置基準にこだわらない「先生の加配」と、さらなる先生方への研修体制の充実が必要です。
Question		answer	future issue

災害に強い・活力ある武蔵野を切り拓く！

国土強靱化計画

武蔵野市の課題はズバリこれ！

- 1 上水道超老朽化整備・都への水道事業の一元化を急ぐ！
- 2 下水道最終処理(野川水再生センター建設)と北町・桜堤3丁目水害対策を進める！
- 3 駅周辺の「災害に強いまちづくり」と「再開発将来ビジョン」に着手する！
- 4 木密地域・狹隘道路・電線地中化等災害に強いまちを目指す！
- 5 再生可能エネルギー活用のスマートシティ「ネクスト」のまちづくりへ挑戦する！
- 6 公共施設や学校の建て替えに伴う「民間活力導入(PPP)」で「多機能・複合施設化」を実現する

トピック
01 学校を多機能複合施設に！
市川市立第七中学校を視察しました。

6月1日(月)

認可
保育園

+

高齢者
施設

+

高齢者
デイケア

+

自校式
給食

+

公会堂

=

新しい
「地域の学校」
のかたち



文部科学省の「民間活用(PFI)」モデル事業(平成16年共用開始)で、多機能・複合施設化を実現しています。木の材質に、床暖房、広々と校庭の一部を園庭に使える保育園。園児と中学生との交流で、元気一杯のデイ・サービス。介護施設では、中学生が介護の研修に取り組みます。自校式給食だから、いつもできたての給食！公会堂では、文化祭や合奏合唱などの取組も、市民の方々に広く公開することができます。民間の力を利用した「PFI事業」で、学校に多機能性を持たせるとこんなに素敵な空間になります。もちろん、いかようにも間仕切りを移動させることができる「スケルトン・インフィル」方式です。そして、コストは15億5千万円削減できたとうかがいます。待機児童も解消！おいしいできたての給食の実現！地域雇用(保育・介護・調理等)にもつなげます！学校をもっと開いて、「日常の福祉・災害時の拠点へ」とリノベーション(再生)が必要です。

小中一貫

+

「保育」「介護」
の地域福祉
地域雇用の創出

+

民間活力導入
「多機能・
複合施設化」で
武蔵野の
新しい教育の
未来を拓く！

+

CSV
Creating shared value
官民連携で
共有価値の
創造へ！

+

重点政策

- ①「国土強靱化地域計画」を策定し、武蔵野市の脆弱性(弱点)=上下水道インフラ整備に速やかに着手する！
- ②「ひと・まち・しごと創生」は、「ビックデータに基づく昼間人口」と「将来人口ビジョン」が活力あるまちづくりの鍵！
- ③「公共施設管理計画」策定は、官民連携の「多機能・複合施設化」と再生可能エネルギー利用のスマートシティ「ネクスト」を目指す！

地方創生

ひと・まち・しごと創生

武蔵野市の課題はズバリこれ！

- 1 消滅可能性対策！市が伝統継承してきた「人口抑制政策」「バランスのよい」人口微増構成を目指す！
- 2 さらに「子育て支援」政策を推進する！
- 3 働きながらの「子育て」「介護」を応援する！(ライフワークバランスの推進)
- 4 地域で働ける！「武蔵野版子育て・介護サポーター」の育成や官民連携で地域雇用を創り出す！
- 5 医療・介護の連携！東部地区医療再生と福祉のまちづくりを急ぐ！
- 6 「介護報酬アップ」！武蔵野独自の財源で「武蔵野食育ソムリエ(仮称)」資格の認定でケアワーカーを応援する！
- 7 武蔵野市近郊友好都市に「安心の介護施設」(日本版CCRC)を実現する！

※日本版CCRC=米国発祥の「継続的なケア付きリタイアメントコミュニティ」。高齢者が自立して生活できるうちに入居して、社会活動に参加し、介護が必要になった場合は、医療を受けながら暮らし続ける仕組み。(コトバンクより)

トピック
02 東部地区医療再生は、「地区住民の発意・提案が鍵」!!!

要政治的
決断！

医療法人「啓仁会」吉祥寺南病院様の建て替えは、東部地区の医療再生の要です。街区における国交省認可要件による「容積緩和型の地区計画策定」が頼みの綱となりました。とはいえ、行政上の「公平性」という一般原則から、行政が一部の権利関係者のためのだけに利益誘導はできません。また、容積緩和に向けては、対象となる敷地面積が広いほど緩和のハードルが下がるそうです。ならば、公共施設であり、法的には市の所有する「南町コミュニティセンター移設」を検討すべきではないでしょうか。移設にあたっては、健康増進の体操スペースの拡大や、南病院との連携を図り、医療・健康・地域福祉機能内蔵の「スーパーコミセン」にリノベーション(再生)すべきと考えます。いずれにしても、「地区計画は地元住民の発意と提案が主たる要件」との市長答弁がありました。市は、住民任せにせず、共に医療再生のシナリオを描くべきと考えます。

トピック
03 民間活用導入(PPP)で「旧平井医院」を福祉の拠点へ。



「旧平井医院」は、「地域の福祉活動の役に立ててください」と市に寄贈されました。長年にわたる東町のコミセン活動と福祉活動で「熱心なHさん」と平井先生の「共感と信頼の約束の寄贈」に、いよいよ市が着手です。「地域の居場所」を併設した「サービス付き高齢者住宅」を民間活力導入(PPP)で検討を始めます。東町が求めるのは、「子どもから高齢者までの多世代交流」の拠点です。いよいよ、地域の底力の出番です。